

アクサダイレクト生命 2013年度第3四半期末(2013年4月1日～12月31日)の業績を発表

アクサダイレクト生命保険株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:斎藤英明)は、2014年2月14日、日本会計基準に基づく2013年度(平成25年度)第3四半期末の業績を発表しました。

収入指標

- ・ 新契約件数は、前年同期比37.5%減の6,752件、新契約高42,330百万円(同38.2%減)、保有契約件数は、前年度末比6.6%増の52,772件、保有契約高400,756百万円(同4.2%増)となりました。
- ・ 保険料等収入は、前年同期比15.9%増の1,643百万円となりました。

収益指標

- ・ 経常収益が1,732百万円となる中、保険金等支払金465百万円、責任準備金等繰入額467百万円、事業費2,423百万円、その他経常費用1,178百万円をはじめとする経常費用および特別損失2百万円、法人税等△1,048百万円、法人税等調整額306百万円を控除した結果、四半期純損失は2,064百万円となりました。

財務基盤

- ・ ソルベンシー・マージン比率は2,788.5%となっており、十分に高い健全性を確保しております。

アクサダイレクト生命の代表取締役社長、斎藤英明は、次のようにコメントしています。

「昨年より、インターネットを軸とした顧客との接点拡大をテーマにオンラインバンキングや電話といった多様なチャネルとの融合を推進している。

その一環として先月、地方銀行のオンラインバンキングにおける保険窓販を福岡銀行および北國銀行で開始する旨を発表した。これはインターネット専業生保として初のケースであり、お客さまにとって金融商品の申込みチャネル多様化による利便性向上に資するものとして、今後も提携行拡大を目指す。

また4月の消費増税を控え、今般の経済・社会環境下においてインターネット保険の有用性や意義を改めて実感いただけるようプロモーションを展開し、成長を加速していく。」

アクサダイレクト生命について

アクサダイレクト生命は2008年4月7日に日本初のインターネット専業生命保険会社として誕生した、AXAのメンバーカンパニーです。インターネット技術を活用した効率的な運営(少人数、ペーパーレス、営業用の店舗を持たないことなど)により、お求めやすい保険料で生命保険を提供しております。2013年5月14日に「ネクスティア生命」から社名変更いたしました。

AXAグループについて

AXAは世界57ヶ国で16万人の従業員を擁し、1億200万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2012年度通期の売上は901億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は43億ユーロ、2012年12月31日時点における運用資産総額は1兆1,160億ユーロにのぼります。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。詳細はwww.axa.comをご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサダイレクト生命保険株式会社 企画部広報課

TEL:03-5210-1540 FAX:03-5210-1542

E-mail:communication@axa-direct-life.co.jp

<http://www.axa-direct-life.co.jp/>

2013年度第3四半期報告

アクサダイレクト生命（代表取締役社長 斎藤 英明）の2013年度第3四半期（4月1日～12月31日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	……	1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	3頁
3. 四半期貸借対照表	……	4頁
4. 四半期損益計算書	……	5頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	7頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	8頁
7. 特別勘定の状況	……	8頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	8頁

以上

お問い合わせは、次にお願いたします。

アクサダイレクト生命保険株式会社 企画部 03-5210-1540

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2012年度末		2013年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	49	3,846	52	106.6	4,007	104.2
個人年金保険	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-

新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2012年度 第3四半期累計期間				2013年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加			前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個 人 保 険	10	685	685	-	6	62.5	423	61.8	423	-
個人年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2012年度末	2013年度	
		第3四半期 会計期間末	前年度 末比
個 人 保 険	2,036	2,167	106.4
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	2,036	2,167	106.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	833	884	106.2

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2012年度 第3四半期 累計期間	2013年度	
		第3四半期 累計期間	前年 同期比
個 人 保 険	431	281	65.2
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	431	281	65.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	194	118	61.0

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2012年度末		2013年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	3,260	25.4	2,859	23.1
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	-	-	-	-
貸 付 金	-	-	-	-
不 動 産	15	0.1	21	0.2
繰 延 税 金 資 産	1,870	14.5	1,563	12.6
そ の 他	7,714	60.0	7,955	64.2
貸 倒 引 当 金	△ 1	△0.0	△ 1	△0.0
合 計	12,858	100.0	12,398	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	-	-	-	-

（2）有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

該当する事項はありません。

（3）金銭の信託の時価情報

該当する事項はありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2012年度末 要約貸借対照表 (2013年3月31日現在)	2013年度 第3四半期会計期間末 (2013年12月31日現在)
		金 額	金 額
(資 産 の 部)			
現 金 及 び 預 貯 金		3,260	2,859
有 価 証 券		-	-
有 形 固 定 資 産		20	29
無 形 固 定 資 産		164	113
再 保 険 貸		23	11
そ の 他 資 産		7,520	7,822
保 険 業 法 第 113 条 繰 延 資 産		7,407	6,296
そ の 他 の 資 産		113	1,525
繰 延 税 金 資 産		1,870	1,563
貸 倒 引 当 金		△ 1	△ 1
資 産 の 部 合 計		12,858	12,398
(負 債 の 部)			
保 険 契 約 準 備 金		1,694	2,075
支 払 備 金		209	122
責 任 準 備 金		1,485	1,953
代 理 店 借		6	5
再 保 険 借		29	28
そ の 他 負 債		987	213
未 払 法 人 税 等		772	0
リ ー ス 債 務		3	1
資 産 除 去 債 務		5	8
そ の 他 の 負 債		206	201
価 格 変 動 準 備 金		0	0
繰 延 税 金 負 債		-	-
負 債 の 部 合 計		2,719	2,323
(純 資 産 の 部)			
資 本 金		7,750	8,750
資 本 剰 余 金		6,590	7,590
資 本 準 備 金		6,590	7,590
利 益 剰 余 金		△ 4,201	△ 6,265
そ の 他 利 益 剰 余 金		△ 4,201	△ 6,265
繰 越 利 益 剰 余 金		△ 4,201	△ 6,265
株 主 資 本 合 計		10,139	10,074
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		-	-
純 資 産 の 部 合 計		10,139	10,074
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		12,858	12,398

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	〔 2012年度 第3四半期累計期間 2012年4月1日から 2012年12月31日まで 〕	〔 2013年度 第3四半期累計期間 2013年4月1日から 2013年12月31日まで 〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	1,424	1,732
保 険 料 等 収 入	1,417	1,643
（うち保険料）	(1,355)	(1,551)
資 産 運 用 収 益	1	0
（うち利息及び配当金等収入）	(1)	(0)
そ の 他 経 常 収 益	4	87
経 常 費 用	2,626	4,535
保 険 金 等 支 払 金	505	465
（うち保険金）	(268)	(198)
（うち年金）	(-)	(0)
（うち給付金）	(152)	(167)
（うち解約返戻金）	(10)	(16)
（うちその他返戻金）	(0)	(0)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	373	467
支 払 備 金 繰 入 額	-	-
責 任 準 備 金 繰 入 額	373	467
資 産 運 用 費 用	0	0
（うち支払利息）	(0)	(0)
事 業 費	2,254	2,423
そ の 他 経 常 費 用	1,203	1,178
保 険 業 法 第 1 1 3 条 繰 延 額	△ 1,710	-
経 常 損 失 (△)	△ 1,202	△ 2,803
特 別 損 失	26	2
固 定 資 産 等 処 分 損	26	2
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	-	-
税 引 前 四 半 期 純 損 失 (△)	△ 1,229	△ 2,806
法 人 税 及 び 住 民 税	2	△ 1,048
法 人 税 等 調 整 額	40	306
法 人 税 等 合 計	43	△ 741
四 半 期 純 損 失 (△)	△ 1,272	△ 2,064

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2013年度第3四半期会計期間末

1. 当年度よりアクサ ジャパン ホールディング株式会社を連結納税親会社として、連結納税制度を適用しております。
2. 保険業法第113条繰延資産の額は、6,296百万円であります。
なお、保険業法第113条繰延資産の償却方法は、定款の規定に基づき償却しております。
3. 株主資本の金額の著しい変動

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	7,750	6,590	△4,201	—	10,139
当第3四半期会計期間末 までの変動額	—	—	—	—	—
新株の発行	999	999	—	—	1,999
四半期純損失(△)	—	—	△2,064	—	△2,064
当第3四半期会計期間末 までの変動額合計	999	999	△2,064	—	△64
当第3四半期会計期間末 残高	8,750	7,590	△6,265	—	10,074

4. 金額は、記載金額未満を切り捨てて表示しております。

注記事項

(四半期損益計算書関係)

2013年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は4,404円96銭であります。
2. 金額は、記載金額未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2012年度 第3四半期累計期間	2013年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	△ 1,171	△ 2,792
キャピタル収益	-	-
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	-	-
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	-	-
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	-	-
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	-	-
為替差損	-	-
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	-	-
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△ 1,171	△ 2,792
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	30	11
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	30	11
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 30	△ 11
経常利益 A + B + C	△ 1,202	△ 2,803

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2012年度末	2013年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	3,004	4,062
資本金等	2,731	3,778
価格変動準備金	0	0
危険準備金	272	283
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	-	-
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性 資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額	280	291
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額 R1	216	226
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	52	54
予定利率リスク相当額 R2	0	0
資産運用リスク相当額 R3	33	28
最低保証リスク相当額 R7	-	-
経営管理リスク相当額 R4	9	9
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,141.0 %	2,788.5 %

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

該当する事項はありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当する事項はありません。